

Vol.80

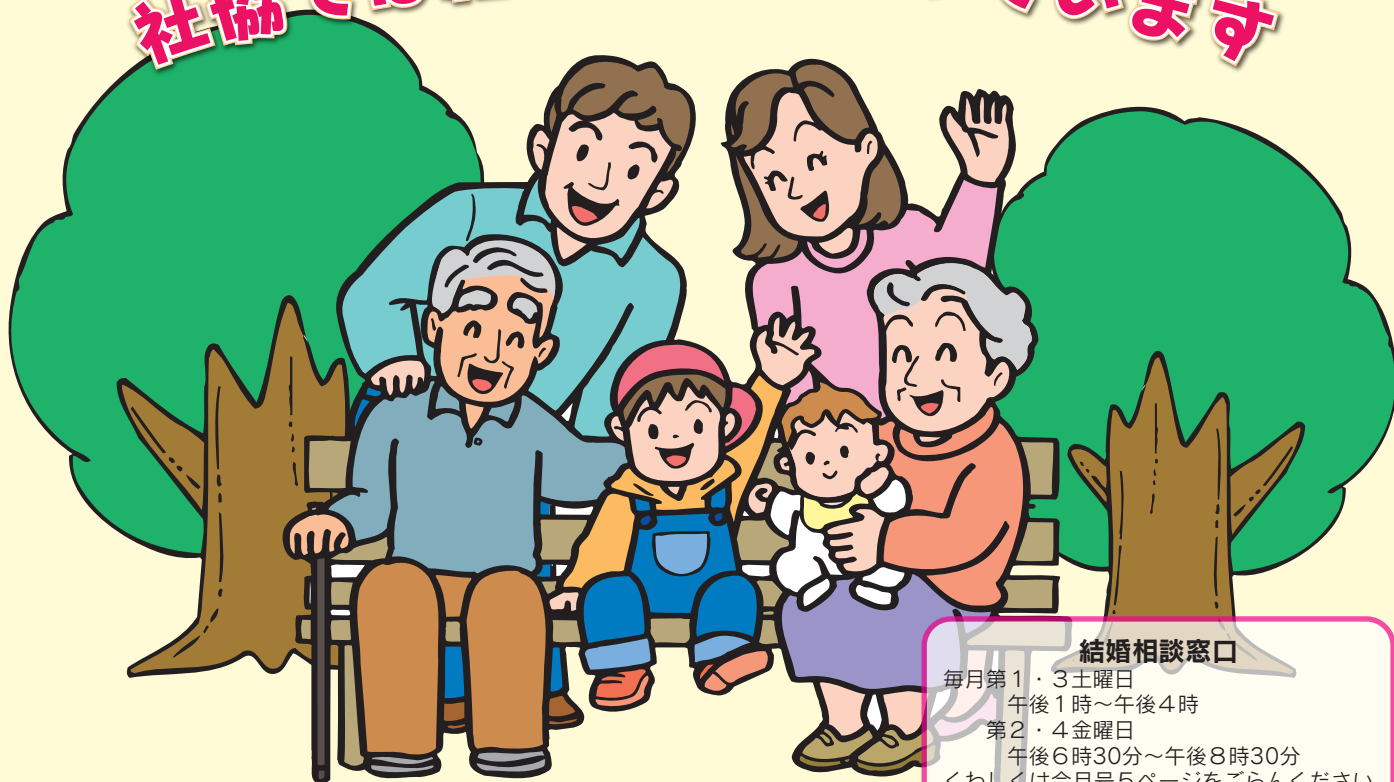
2010年 7月号

# ぐらぶあ

ふみだそう、福祉でまちづくり

## 家族っていいな

社協では結婚相談も行っています



### 結婚相談窓口

毎月第1・3土曜日  
午後1時～午後4時  
第2・4金曜日  
午後6時30分～午後8時30分  
くわしくは今月号5ページをごらんください。

男女の出会いが人生の宝。自分が存在するのも両親の出会いによりです。昨年、社協の結婚相談を縁として、七組のカップルが誕生。縁を結ばれた男女にとつて、かけがえのない大切な人との出会いは、二人の幸せな人生の第一歩となったことでしょう。

幸せは、自分の身近なところにあります。住む所がある、仕事がある、友達がいる、食べることができ、元気である、親がいる、子どもがいる。このような、ごくあたりまえの家族団圓の家庭にあります。その気付きが大切。

生命は地球上に誕生して以来、今まで絶えることなく受け継がれている。自分が今、どうして存在しているのかと考えてみても、とつてい考えが及ばない。自分が存在していることがあたりまえのように思われますが、それは奇跡です。

「縁」で不思議ですね。父と母の縁があつて自分がある。父母も祖父母との出会いのおかげであります。十代前は一〇二四人の縁、二十代前は百万人を越え、三十代前は十億人を越える男女の縁となります。二の十乗、二の二十乗、二の三十乗と、これは計算上の話です。



今月は  
社協会費の  
納入月です

# 社協会費Q & A

今月は社協会費の納入月です。昨年と同じように、もう一度社協会費についてお伝えしたいと思います。



Q “社協会費” っていうことだけど、社協会員になった覚えがないのにな…

A 住んでよかった街づくりのためにみなさんのご協力をお願いしています。

社会福祉協議会は、地域福祉推進の中心的な役割を果たす団体として『社会福祉法』という法律に位置づけられ、『安心して豊かな気持ちで暮らせる地域』を行政とともに、市民の側からもつくっていくことを推し進める組織です。

『全ての人々が安心して豊かな気持ちで暮らせる地域』は、そこに暮らす全ての人々が地域づくりに参加してこそ実現します。会員を茅野市の全世帯を対象とさせていただいているのも、みんなでの地域福祉の推進を目指しているからです。

Q “寄付” じゃなくて、“社協会費” っていうのは意味があるの？

A 自分たちのために自分たちで出し合い、自分たちで使う。それが社協会費です。

『社協会費』は自分が暮らす地域をよりよい地域にするために、地域福祉推進の主体者である会員として出合うお金のことです。

『寄付』は善意の寄付金や遺志金などです。自由に出すことで会費とは区別しています。具体的には活動はできなくても会費や寄付の協力が『自分の地域を自分でつくる』地域福祉活動を支えることにつながります。



Q 茅野市に暮らす私たちが“社協会員”として、街づくりをするために“社協会費”を出すというのは分かったわ！…けど、どうして会員の種類と金額が分かれているの？

A 社協会費は払った分の見返りを期待する「保険の特約」とは違います。

茅野市の社協会費は“普通会员”“賛助会員”“特別会員”の3つに分かれています。会費納入もお互い様の支えあいの取り組みの一つです。社協と深く関わりを持ち、社協事業に率先して参画いただける方には賛助会員や特別会員になっていただくなど、みなさんのお気持ちでお願いしています。「会員の種類によって会費を入れる封筒が違うことに違和感を持つ」という声がありましたので、今回より封筒の色、大きさを統一しました。

Q 社協会費を区・自治会長さんが集めるのはどうして？

A 市内10地区の区長会長さんは社会福祉協議会の理事・評議員になっていただいていますので、社協会費の取りまとめにご協力をお願いしています。

なお、会費は、社会福祉協議会事務局や各地区コミュニティセンターへ直接お持ちいただいても構いません。区・自治会未加入の方は直接お持ちいただくことができます。



Q 社協会費は何に使われているの？

A いただいた社協会費は、みなさんの身近なところで使われています。

社会福祉協議会では、社協会費や寄付金を自主財源とし、茅野市独自の事業を展開しています。

## 「地区社協還元金」

それぞれの地区社協事業を通して、各区・自治会の高齢者や一人暮らしの方への配食サービス、また福祉推進委員の活動費にも使われています。

## 「総合相談事業」

心配ごと相談や結婚相談等を行っています。結婚相談は、広く結婚の紹介ならびに相談に応じており、昨年は7組のカップルが誕生しました。

## 「シャララほっとサービス事業」

高齢者の方や障害を持つ方、子育て中の家庭などが、お買い物や片付け等、日常生活の中で困ったことが起きた場合にお互いさまのお手伝いをしています。

## 「小地域活動推進事業」

安心して暮らせる地域づくりのために、個別訪問や御用聞き便りの発行、地区社協の支援などを通してネットワークづくりを行っています。

## 「希望の旅事業」

日頃、遠方に出かける機会の少ない、在宅で生活をされている障害を持つ方とその介護者の方に、旅先でゆつくりと楽しいひと時を過ごしていただく事業です。

## 「ボランティア市民活動の推進支援・福祉教育推進事業」

ボランティアや市民活動が地域で活発に行われるように支援をしています。学校や地域における福祉教育にも使われています。

## 「独り暮らし安心コール事業」

一人暮らしの高齢者の方が希望する曜日と時間に、協力員の方から電話をして、安否確認や健康状態の確認をしています。

## 「社協運営費・情報紙の発行」

社協の運営や、社協情報誌「やらざあ」・ボランティア市民活動センター情報誌「たまご」の発行にも使われています。



Q 社協会費の意味合いはわかったけど、社協って“委託金”や“補助金”もあったよね…？

A はい、委託金や補助金はそれぞれ使用目的が決められています。

社協の財源には社協会費や寄付の他に、補助金や委託金、基金などがあります。

“補助金”は、茅野市の福祉を推進し、市民の暮らしをより良くしようとする社協の活動や事業を支援するために市などが補助しているお金のことです。

“委託金”は、市などの自治体の事業を社協が委託を受けて行うときにかかる必要経費を委託金として受け取るものです。(例：移送サービス・おたっしや弁当 など)

“基金”は、予算組み出来ない災害緊急時などの不意な出費に対応するための財源です。

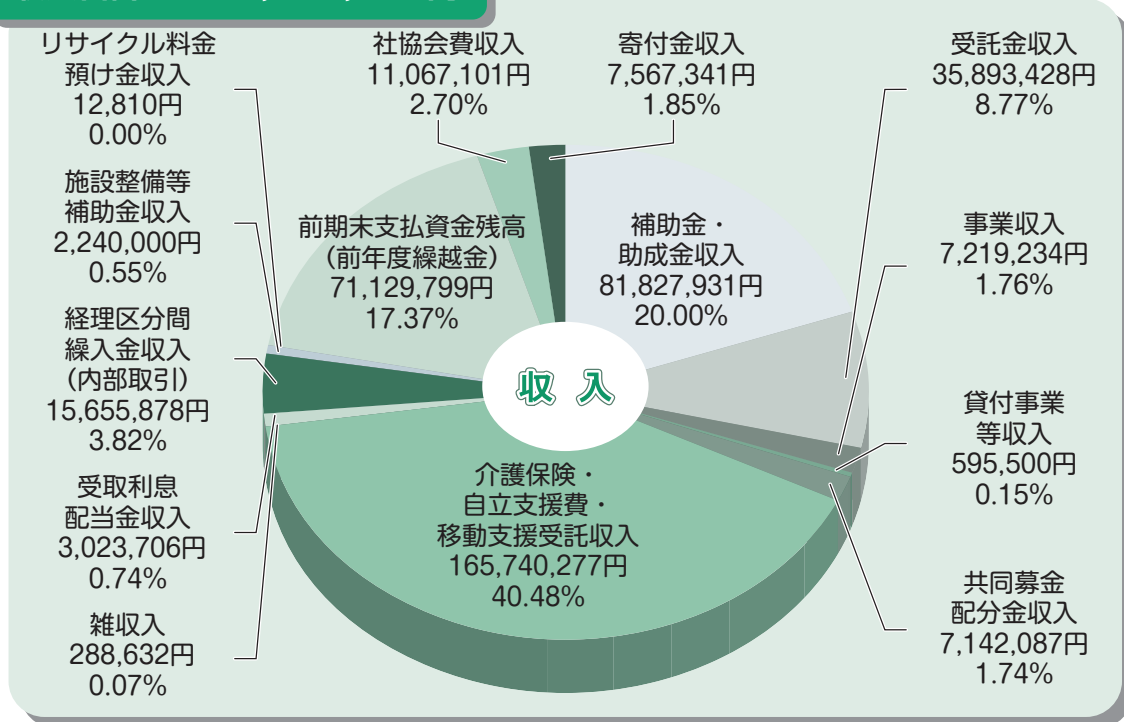
みなさんからいただいた社協会費は、自主財源として貴重な意味を持ちます。

社協の特性である即応性を活かし、地域性を踏まえたまちづくりの活動には不可欠なのです。社協会費の納入により地域活動が充実することで、暮らしやすい地域づくりにつながります。

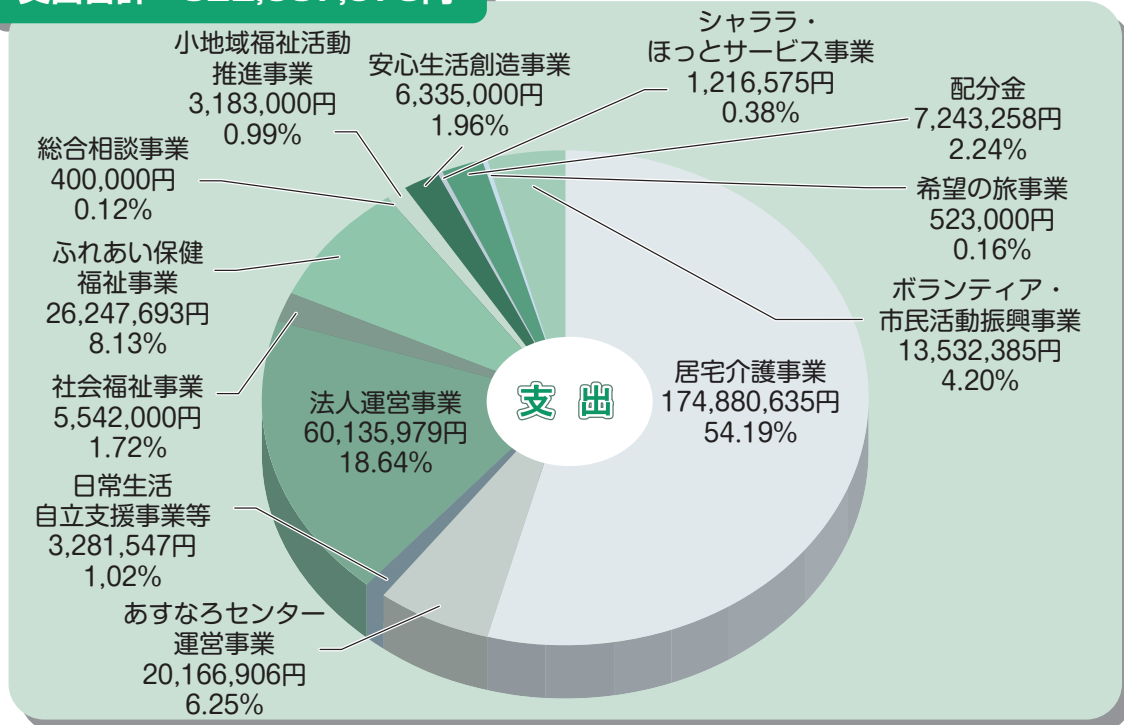
地域のみなさんを会員とする社協にとって“会費”には「住民参加」という何よりも大きな意味が込められています。多くのみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

# H21年度茅野市社会福祉協議会 決算報告

収入合計 409,403,724円



支出合計 322,687,978円



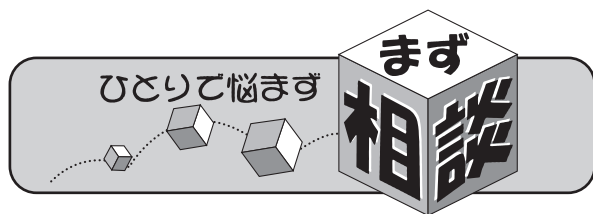
H21年度、茅野市社会福祉協議会では、社協「やらざあ」などで福祉の情報をお伝えしながら、市民一人ひとりを大切に総合的な地域福祉の推進に取り組みました。

事業の内容につきましては、スペースの関係上ホームページをご覧ください。

茅野市社会福祉協議会

検索





人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

### 心配ごと相談

どんなことでもご相談ください

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

### 結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日

午後1時～午後4時

第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

### 司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話／73-4431

### あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方  
ご相談ください

毎月第1・3月曜日 午後2時～午後4時

相談員：ボランティア

直通電話／82-0400

### 福祉やボランティアについての相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話／73-4431 FAX／73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室  
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらざあ** Vol.80  
2010年 7月号

2010年7月1日

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002 茅野市塚原2-5-45

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: [support@sharara.or.jp](mailto:support@sharara.or.jp)

社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。

## 読者の声

・今回の御柱祭も印象的で回答全て空で出てきました。  
(49歳 女性 玉川)

◎編：すごいですね！！

・今回の御柱は上社・下社の山出し、里曳きともに見に行ってきました。非常に盛り上がり、良いお祭りでした。次回の御柱祭も参加できるよう元気でいたいと思います。

(73歳 男性 湖東)

◎編：みなさま元気でお願いだ～！！

・初めて投稿します。以前やらざあ編集委員の一言で「いつも投稿してくれている人からの手紙が来ないと、どうしてるのか気になります」という様な記述があり、こういう地域の人とのコミュニケーションの取り方もあるのだなあと、なんだか心に残った一文でした。

(20代 男性 宮川)

◎編：しっかり読んでいただいて、ありがとうございます。コミュニケーションってちょっとしたことでとれるんですよ。

今回も

**クイズ** 知っていますか？



一年の間にはいろいろな祝日がありますが、次の祝日は何月でしょう。

- イ 憲法記念日
- ロ 春分の日
- ハ 成人の日
- ニ 天皇誕生日
- ホ 建国記念日
- ヘ 昭和の日
- ト 文化の日
- チ 海の日
- リ 敬老の日
- ヌ 体育の日

#### 応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあ感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

#### 応募締め切り

7月末日

#### 前回のクイズの答え

①ホ ②ヘ ③ト ④ロ ⑤チ ⑥イ ⑦ハ ⑧ニ

#### 当選者

竹村 心さん（宮川）、伊藤きみ子さん（宮川）、矢嶋登喜子さん（ちの）

当選された方には図書カードをお送りいたします。たくさんのご応募ありがとうございました。

